

### 3 単元の導入で使える写真

今回、ハンバーガーで米国理解を考える中で、一番子どもになじみが深いマクドナルド社を取り上げることにした。マクドナルド社は、世界 120 カ国に進出している多国籍企業であり、日本にも 3800 の店があり、子どもたちも今までに何度も利用している。

導入では、アメリカでもらってきたドリンクの容器と日本のとを比較させ、子どもたちに興味をもたせる。そして、アメリカの歴史とマクドナルド社の歴史を簡単にとらえさせる。その時に、日本マクドナルド社のホームページに出ていたマクドナルドの歴史とを比較させる。次に、世界各国限定のハンバーガーの写真（資料 1）を提示し、マクドナルド社が多国籍企業であるということをとらえさせる。このことから、子どもたちに、「マクドナルドが、どうしてこんなに世界に進出しているのだろうか」という追究課題を提示する。この他にも、日本マクドナルド社のホームページに興味深い資料がいくつかある。

#### （資料 1）世界各国の限定バーガー



キムチバーガー（韓国）



マックプリトー（メキシコ）



マハラジャマック（インド）

### 4 おわりに

ハンバーガーという身近な食べ物を使って米国理解を考えてみた。実際には授業をしていないのでわからないが、子どもたちにとって、追究意欲がわく題材であると思っている。それは、この題材を考えた自分自身がそう感じたからである。

今回紹介した以外についても、子どもたちが興味をもつような資料がいくつかある。ハンバーガーを通して、ゴミ問題やバリアフリーの問題など様々な問題へと発展させていけると感じた。



今回、この研修に参加して多くのことを学んだ。世界一といわれるアメリカを目の当たりにして、スケールの大きさを感じることができ、日本との違いを知ることができた。しかし、アメリカを見ることによって、日本の素晴らしさ、便利さを改めて痛感した。

この研修で様々な場所の見学や体験を通して、自分自身の米国理解がとても深まった。機会があればまたアメリカに行き、違った角度から米国理解を深めていきたい。